

平成 29 年 9 月 16 日（土）

平成 29 年度 第 2 回学校協議会議事

於：校長室

1. 開会の辞
2. 校長挨拶
3. 議事
 - ① 本年度の各取組について（中間報告）
 - ② 教科書選定結果について
 - ③ 質疑応答
 - ④ 次回協議会日程
4. 閉会の辞

事務局からの「議事」に係る説明

① 本年度の各取組について

<GLHS 指定校としての取組>

○茨木 Brothers & Sisters プログラム（大阪大学留学生等との交流）

昨年度は 44 名の大阪大学留学生が本校 1 年生と交流した。現在、大阪大学国際教育交流センターと調整中。留学生が 10 月に入れ替わるので、その後、募集を開始する。Brothers & Sisters プログラムの具体的な日程は 12 月 2 日（土）。

○東京スタディツアー

8 月 3 日（木）～ 4 日（金）に実施済み。参加生徒は 19 名。訪問先は東京大学情報工学研究科篠田研究室、同電子情報学松浦研究室、東京医科歯科大学難治疾患研究所。また、夜は東京久敬会と交流した。アンケート結果は別添資料のとおり。

○学問発見講座・卒業生講座の開催

学問発見講座は 7 月 15 日（土）に実施。14 講座、生徒 423 名参加。具体的な講座名、講師、講座参加者数は資料の表にあるとおり。

卒業生講座は 10 月 14 日（土）に開催予定。現在調整中。

○茨木高校 OB による講話と学習支援

例年、OB による講話は教育実習生により実施している。3 年生に対し 2 名、2 年生に対し 1 名の進路講話を行うとともに、1 年生に対し 5 名がパネルディスカッションを行い、学部・学科選びの参考になる話を行った。

卒業生による学習支援は現在 2 回、8 日間実施している。今年は昨年比べ、在校

生の質問が増えている。協力卒業生はのべ 21 名、参加生徒はのべ 221 名。

○リーダー育成プログラムⅠ、Ⅱ、Ⅲ

Ⅰはクラブ代表者の育成、ⅡはHR委員の育成、Ⅲは理学療法士の指導により身体の自己管理能力向上を図るもの。それぞれの進捗状況は資料の表のとおり。

○豊かな感性を育むプログラム

芸術科の発表会、美術・書道は2月実施。音楽は3月実施。詳細はこれから決まる。

<骨太の英語力養成事業の取組>

○TOEFL iBT Complete Practice Test

1年生125名、2年生120名、3年生9名が受験予定。2年生はEnglish in Actionの授業で行う。他の学年は土曜日の午後や放課後に実施予定。

○71期、72期英語イマージョンプログラム

1年生は12月に2日間、2年生は1月に2日、3月に2日計4日間実施予定。

<72期生入学状況><69期生進路状況>

資料に基づき、簡潔に説明。

<各教科の目標>

説明省略。

<前期・授業アンケート教科別集計一覧等>

実施結果報告。昨年度とほぼ同じ数字。

<遅刻統計>

4月から8月までの遅刻者数は昨年度とほぼ同じ。

② 添付資料の説明

<71期生宿泊野外行事>

6月に2団に分けてオーストラリア・ケアンズに行った。2団に分けたのは飛行機の都合。

<京大研究室訪問>

京大研究室訪問の行先と参加人数、事後アンケート報告。

<教科書選定結果>

選定一覧表と、選定理由一覧表に基づき、選定経過を説明。

③ 質疑応答

<TOEFL iBT>

委員：TOEFL iBT Complete Practice Test の受験希望者が多いが、人数が増えたのは英語科の工夫によるものではないか。

事務局：中学校の英語教育が変わってきているのも影響しているかもしれない。文法は弱くなっているが、英語運用能力は上がっている。高校入試もC問題はオールイングリッシュで出題され、リスニングの比率は約 33%となった。今の中学生は、以前の生徒よりも聞き取る力がある。また、外部資格に対する興味も高まっている。難しい問題だと本気になるチャレンジ精神のある生徒が増えた。TOEFL 仕様の授業は1年生全員に行っているが、もっとアウトプットしたいと考える生徒は2年生で English in Action の授業を選択している。1年生に対しては、とても難しい問題だからできなくてもかまわない、学年が上がればできるようになってくると指導している。本校の受験者数は GLHS10 校の中でとても多い。ただ、Web 環境の関係で一度に大勢受験することができない。

委員：これの受験に、久敬会の援助は出ているのか。

事務局：「国際理解教育基金」から補助していただいている。

<リーダー育成 I >

委員：海外勤務が多くなってきている現在、英語力がついていれば仕事がやりやすい。ところで、大学では、成績上位者にリーダーシップに欠ける学生が混じっていたり、地道な学生が多く集団がまとまっていかなかったりする傾向を感じる。茨高でリーダーシップを培うにはどうしているのか。

事務局：例えば、入学式当日に学級代表等の委員を決めている。また、いろいろな行事の場で、リーダーとなる生徒が変わる。体育祭では数多くの役割が準備されており、多くの生徒がリーダーとなれるような仕組みになっている。

<海外修学旅行>

委員：TOEFL で鍛えた英語力はオーストラリアで通用したのか。

事務局：オーストラリア英語は聞き取りづらかったようだ。しかしながら、世界にはいろんな英語があると気づくことができ、コミュニケーションツールとしての英語学習に対するモチベーションはさらに高まった。

<リーダー育成 II >

- 委員：リーダー育成のしかけとして学年はじめの遠足はどのようにしているか。
- 事務局：最近の遠足はバーベキューをするクラスが多い。生徒は現地と電話打ち合わせや、下見をし、担任に報告しながら企画を進めている。
- 委員：リーダーの経験をしていなくても、見ているだけでリーダーの感覚を生徒はわかっていると思う。それが、大学生になって集団をまとめることにつながっていく。やってないけど見ていたことが大きい。裏では、先生方が時間をかけて仕掛けをしている。
- 委員：リーダー育成の取組実践を記録として残せばよい。例えば、卒業生の座談会で一つの物語が浮かび上がる。教員、保護者も執筆し、ぜひ記録を残してほしい。
- 委員：入学直後、委員決めが始まっていた。遠足でも自分たちで企画・運営できるのだと思った。体育祭は縦割りで1年生にとっては3年生の引っ張る力が強く、これが3年生になったとき、自分たちでやらなければならないという思いにつながった。また、体育祭の撤収が早い。後夜祭を楽しむために、撤収時間が遅れた場合のスケジュールを複数決めていた。1年生では裏方だった子が、3年生ではリーダーの一人になった。
- 委員：生徒は自分たちの權益を守ろうとして、自主的に動くようになっている。これは大人になっても役立つ。理解できない立場の人から見ると、生意気に見えることもあるがそれでよい。
- 委員：教員の指導に感服している。口出しをがまんして生徒の自主性を引き出している。これからもこの方法を続けてほしい。一つのことだけでなく、いろんなことをせよというのが全人教育としてよい。

<英語教育>

- 委員：親の仕事がグローバル化している現状では、多少なりとも海外経験のある生徒は増えているのか。
- 事務局：帰国生徒の調査はしていないが、特に増えたという感触はもっていない。ネイティブスピーカーのような発音をする生徒が何人もいるが、必ずしも海外経験がある生徒というわけではない。
- 委員：英語イマージョンプログラムを受講した生徒は、しなかった生徒に刺激を与えているか。
- 事務局：英語イマージョンプログラムは、授業での核となる生徒を育てることをめざしている。プログラムを通じて自信をつけた生徒が、プレゼンテーションやディベートの授業で、その成果を発揮することで、受講しなかった生徒に刺激を与えている。

<授業アンケート>

委員：授業アンケートの結果を見ていると、「必要な予習・復習ができていない」や「授業中は集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいる」、また「先生は生徒の意見や要望を取り入れ、授業改善に生かしている（授業分析）」に数字的に厳しいものが並んでいる。

事務局：1年生で運動部にいる生徒は、高校生の体つきになるまで数か月かかる。その間、予習等に手が回らない状況が生じている。また、授業分析は学年を追うごとに数字が高くなっている。3年間で生徒を育てるという立場で見ると、授業をよくしようという教員の立場はわかってもらえると思う。

校長：例年、この項目は1、2年が低くて、3年で上がる。授業の進み具合とのかねあいだと思う。ゆっくり進めば不満は減るだろうが、大学受験のことを考えればそうすることがよいことだとは考えていない。

委員：かつて子どもが茨高でお世話になっていたが、1年生のとき、数学が教科書と違うことをやっていると聞いていた。

校長：一方で、教科書と同じ内容をするのなら授業は必要ないという意見を持つ生徒もいて、生徒のとらえ方は様々ある。今まで、基本的に普通科に対しても文理学科と同じ内容の授業をしてきた。来春から文理学科のみの募集になるが、基本姿勢は変わらない。

<大学入試センター試験改革>

校長：大学入試センター試験改革の一環として、今年プレテストの実施がある。本校では2年生を対象に国語80名、物理40名の受験を予定している。来年度は3年生を対象にプレテストを行うことになる。

④次回協議会日程

平成29年3月17日（土）午後2時～4時

4. 閉会の辞